

将来のエンタープライズに対応する VPLEX

継続的な可用性と俊敏性

概要

メリット

EMC VPLEXは、世界中で8,000を超えるクラスタがインストールされている最も信頼性の高い可用性テクノロジーであり、Global Fortune 500企業の半数以上に99.9999%を超える可用性を提供しています。

常時稼働のオール フラッシュ: VPLEX VS6は最新のフラッシュ ストレージ テクノロジー向けに構築され、3分の1のレイテンシで2倍のIOPSを提供し、ビジネス クリティカルなアプリケーションがダウンするがないようにします。

無停止の俊敏性: VPLEXは柔軟なストレージ アーキテクチャを構築し、ビジネスニーズの変化に簡単に対応できるようになりました。VPLEXにより、ホストが停止することなく、アレイ間およびデータセンター間でデータとワークロードのモビリティが実現します。

オンラインによるテクノロジーの更新: オール フラッシュ ストレージのタイム トゥ バリューを数か月から数日に削減します。VPLEXにより、ストレージ テクノロジーの更新が完全に無停止になり、手間なく行えます。

Dell EMC フラッシュ ストレージ向けの専用製品: VPLEX FOR ALL-FLASHには、任意の数のEMCオール フラッシュ ストレージ製品の無制限な容量を追加するために必要なソフトウェア ライセンスが含まれています。

世界中のIT組織が迅速にオール フラッシュ ストレージに移行し、総所有コストを削減するために、パフォーマンス、ワークロードの統合、豊富なデータ サービスを活用しています。それにもかかわらず、ビジネス クリティカルなワークロードの可用性は依然として大きな課題です。計画的なダウンタイムと予期しないダウンタイムによって発生するシステム停止は、運用に深刻な影響を及ぼし続け、新しいワークロードが増えるたびにダウンタイムのコストも増え続けています。

EMC VPLEXは、99.9999%を超える可用性をビジネス クリティカルなワークロードに提供することにより、オール フラッシュ インフラストラクチャまたはハイブリッド アレイにおける投資収益率を最大化します。また、VPLEXはビジネスとテクノロジーの急速な変化への対応に必要な俊敏性をITチームに提供すると同時に、アクティブ/アクティブ データセンター間での資産の使用率を最大化する柔軟なストレージ アーキテクチャを構築します。

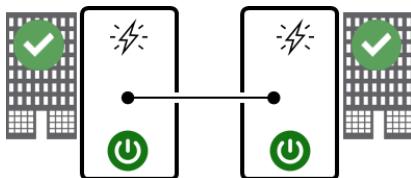
VPLEXにより、IT組織は次のようなデータセンター インフラストラクチャを構築できるようになります。

- **災害時でも常に稼働**
- **ビジネス要件に俊敏に対応**
- **最新のストレージテクノロジーを採用する際も停止しない**

VPLEXには分散キャッシュの一貫性が独自に実装されているため、2つのストレージ システム間で同時に、まったく同じデータへの読み取り/書き込みアクセスが可能です。これにより、ビジネス クリティカルなアプリケーションを常に稼働でき、ホストを停止することなくアレイ間でシームレスなデータ移動が可能になります。このストレージ システムは、単一のデータセンターに配置することも(VPLEX Local)、別の場所に配置することもできます(VPLEX Metro)。IT組織に信頼され、数千を超えるデータセンターに展開されている機能のいくつかを以下に示します。

- **フラッシュ最適化:** オール フラッシュ向けのパフォーマンス最適化では、オール フラッシュでの XCOPY、UNMAPのサポートを使用して、シン プロビジョニングのスペースの再利用がサポートされます。
- **スケールアウト:** VPLEXでは複数のオール フラッシュ ストレージ システムをサポートするVPLEX エンジンを、最大4つまで拡張できます。
- **マルチ プラットフォーム:** EMCおよび70を超えるサード パーティをサポートするVPLEXは、マルチ プラットフォームの可用性が最も高いモビリティ ソリューションです。
- **専用:** VPLEXは、最終サイクルまで残らず使用して可用性を最大化するよう作られているため、基盤となるストレージのコンピューティング リソースを消費しません。
- **单一障害点なし:** VPLEXクラスタ ノード間の接続、VPLEX Metro構成全体にわたる接続性はすべて完全に冗長化されているため、単一障害点に対する保護も確保されています。

VPLEXのユースケース

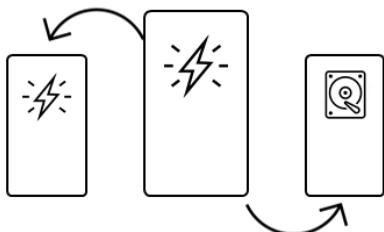


アクティブ/アクティブ データセンターによる継続的な可用性

アプリケーションの継続的な可用性

ビジネス クリティカルなワークフローは無停止である必要があり、ダウンタイムをほとんど許容できません。アプリケーションがダウンする理由は、電源停止、テクノロジーの更新、環境内での予期せぬ障害、人的ミスなど多数あります。VPLEXは、アレイ間およびデータセンター間での自動的なフェールオーバーとフェールバックにより、優れた保護と可用性をアプリケーションに提供します。現在、VPLEXは 99.99999% の可用性を提供しています。

柔軟なコピー データ管理: 2つのデータセンターで本番コピーに同時アクセスすることで、アプリケーション所有者とストレージ管理者は、ビジネス要件に応じていずれかのデータセンターで、柔軟に本番データのコピーを再使用し、リバーパスできます。たとえば、複数の場所にいるテスト チームおよび開発チームが、両方のデータセンターで最新の本番データにアクセスできます。EMC RecoverPointとVPLEXの統合により、さらに都市圏の距離を超えるデータセンター間でもコピーにアクセスできるようになります。

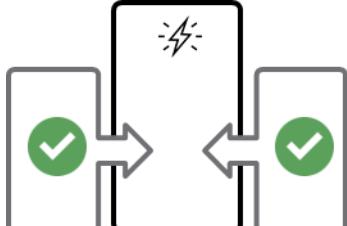


ハイブリッド クラウド間のデータ移動

俊敏性の高いストレージ管理のためのデータ移動

現在のデータセンターには、データとアプリケーションにより大きな負荷がかかっています。ITスタッフは、環境を頻繁に調整して再構成する必要が生じるたびにダウンタウンが発生するという、大きな課題に直面しています。ストレージとコンピューティングを分離すれば、ホストを停止することなく、柔軟にワークフローを移動できます。

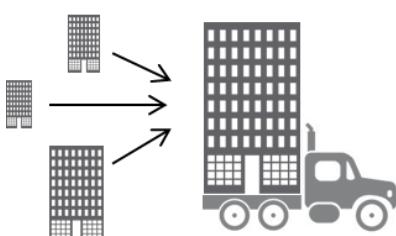
- データセンター内およびデータセンター全体で、VMware vMotionやMicrosoft Hyper-V Live Migrationなどの仮想サーバおよびストレージのリソースを無停止で移動する
- 計画的イベントおよび保守を見越して、ワークフローのバランスングと再配置を透過的に実行する



オール フラッシュへの移行の高速化

新たな概念のテクノロジーの更新

XtremIO、VMAXオール フラッシュなどのオール フラッシュ アレイは、複数のTier-1ワークフローを単一のプラットフォームに統合できます。この統合には、新しいアレイのタイム トゥ バリューに6~9か月もかかるような、1つまたは複数の既存のアレイから新しいフラッシュシステムへの膨大なデータ移行作業も含まれます。VPLEXではオンラインによるテクノロジーの更新を無停止で実行します。VPLEXによるデータ移行ではダウンタイムが発生しないため、ITチームはメンテナンスのダウンタイムで週末を費やす必要がなくなり、移行サービスに伴うコストも節約できます。VPLEXは、フラッシュ テクノロジーの採用を加速し、移行コストを最大80%削減することで、効率的かつ無停止を実現するデータセンターのモダナイズを可能にします。



データセンターの統合と再配置

データセンターの統合と再配置

データセンター インフラストラクチャのモダナイズには、データセンターの移動や統合が伴うことがあります。数百のアプリケーションを移行することは、全体として数か月かかる可能性がある困難な作業です。VPLEXを使用して、お客様は数ペタバイトのデータを無停止で移行し、複数のデータセンターを運用できる柔軟性を実現してきました。

エコシステムの緊密な統合

サーバ 仮想化とクラスタリング

VPLEXではデータセンター間でサーバ仮想化のメリットを活用できます。仮想マシンやアプリケーションのクラスタをデータセンター間に拡張できるため、サイト全体で障害が発生しても、アプリケーションのアップタイムを確保できます。アクティブ/アクティブ データセンターで障害を免れたノードは、VPLEXが提供する仮想ボリュームを使用して実行を継続できます。

vMotion、DRS、HA(高可用性)などのVMware機能はアクティブ/アクティブ データセンター間でシームレスに機能し、仮想化管理者はかつてない制御と柔軟さでワークロードを展開できます。VPLEXは、Microsoft Hyper-Vサーバの仮想化展開に加えて、Oracle RACクラスタ テクノロジーをサポートします。

VIPR SUITE: 自動化と高度な管理

EMC ViPR Suiteは強力なストレージ管理ソフトウェアであり、タスクを自動化してハイブリッド クラウド 環境で異機種混在ストレージ環境を管理し、ITスタッフに実用的な情報を提供します。ViPR Suiteにより、VPLEX環境のエンド ツー エンドのビジュアル化、解析、レポート作成が可能になります。

VPLEXのプロビジョニング、データ移行、データ移動タスクを自動化し、インフラストラクチャの所有者が、VPLEXをサービスとして利用できるようにします。

RECOVERPOINT: 任意のポイント イン タイムのリカバリ

Dell EMC RecoverPointは、EMCストレージ製品に継続的なデータ保護を提供し、確実な稼働と、任意のポイント イン タイムへのディザスタリカバリを実現します。VPLEX MetroとRecoverPointは連携してMetroPointを可能にし、都市圏の距離のA-A(アクティブ/アクティブ)データセンターで継続的な可用性とオペレーション リカバリを提供する3サイト構成に加えて、単一のDRコピーによる両方のA-A データセンターの長距離ディザスタリカバリを実現します。

EMCストレージ: 管理の合理化

EMC AppSyncは、複数のアプリケーションとストレージ システム間のコピー データ管理を合理化します。VPLEX向けのAppSyncサポートにより、アプリケーション所有者は、ビジネス要件に応じていずれかのデータセンターで、柔軟に本番データのコピーを再使用して、リバーパスできます。

VIAS(VPLEX統アレイ サービス)は、EMCアレイのストレージ プロビジョニングなどの合ワークフローを大幅に合理化します。また、VPLEXは、XtremIO向けのUNMAP、ATS、XCOPY、WRITESAMEなどのVAAIコマンドをサポートし、仮想化管理者がさまざまなストレージ レベルのタスクを管理できるようにします。

今すぐモダナイズ

VS6ハードウェア プラットフォームの導入

GeoSynchrony 6.0を搭載したVPLEX VS6は、VS2と比較して、パフォーマンスと拡張性が大幅に強化されています。

- オール フラッシュ ストレージ向けに最適化: 3分の1のレイテンシで2倍のIOPS
- 拡張性: LocalとMetroの両方で、最大4つのエンジンに拡張して、最大12,000ボリュームをサポート。
- 将来に対応したアーキテクチャ: ソフトウェアのアップグレードによる継続的なパフォーマンスの向上。VS2からVS6へのテクノロジー更新は無停止で可能。

GeoSynchronyはVPLEXを強化するソフトウェアです。リリース6.0では、VS6のハードウェアをフル活用する新しい並列コンピューティング パラダイムを導入して、IOPS、レイテンシ、拡張性を大幅に改善します。また、新しいVS6プラットフォームでは、同じハードウェアで将来のソフトウェア リリースを使用し、継続的にパフォーマンスと拡張性を向上させることもできます。

オールインワン製品: VPLEX FOR ALL-FLASH

VPLEX FOR ALL-FLASHは、EMCオール フラッシュ ストレージ製品(XtremIO、VMAXオール フラッシュ、UNITYオール フラッシュ、VNXおよびVNXeファミリーのオール フラッシュ モデル)向けのオールインワン ソリューションです。この新製品の価格には、任意の数のEMCオール フラッシュ アレイで無制限な容量を利用できるソフトウェア ライセンスも含まれています。ソフトウェア ライセンスを追加せずに、必要に応じて新しいエンジンを追加することで、フラッシュ環境を拡大し、VPLEXの機能を活用して継続的な可用性とデータ移動を実現できます。



EMC ジャパン株式会社

〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-1-1

新宿マインズタワー

<http://www.emc.com/ja-jp/index.htm>

Dell EMC お問い合わせ窓口(月一金:9-17時):0120-413-021/ 0120-800-498

販売店お問合せ窓口

NEC パートナーズプラットフォーム事業部

〒108-8424

東京都港区芝5丁目33番8号(第一田町ビル)

TEL:03-3798-9740

お問い合わせ URL <http://jpn.nec.com/emcstorage/contact.html>

製品 URL <http://jpn.nec.com/emcstorage/>